

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業の充実							掲載ページ
								64
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局
		43,979	千円	46,339	千円	施策名	母子保健	担当課
								子ども家庭局
								子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域のなかで子どもが健やかに育成できる環境整備を図ります。			活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	訪問を継続実施し、訪問担当者に対する研修会を行うなど、事業の充実を図ります。訪問等で直接面接して情報を提供します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】	
	専門職による訪問数	5,685 件	適切な訪問	5,855 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	全戸訪問により母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、専門職の訪問が必要なため指標に上げました。 (最終目標と最終年度)						
					順調	順調	
(最終目標と最終年度)				やや遅れ			
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	対象家庭に訪問した結果、81%は実際に面接できており、面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診において支援を行っています。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	地域の主任児童委員や専門職が実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
対象家庭に訪問した結果、81%は実際に面接できており、面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診において支援を行っています。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。今後も関係機関と連携し、事業を周知することおよび介入することで、より効果的な事業の推進を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	産後うつ対策の充実						掲載ページ		
							64		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		43979	千円	46339	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	産後のうつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するため、全産婦に産後うつを早期に発見するための質問票を用いるとともに、医療機関と行政が連携し、産後うつに対して早期に対応する体制を整備します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです		
活動計画	訪問を継続実施し、訪問担当者に対する研修会を行うなど、事業の充実を図ります。訪問等で直接面接して情報を提供します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	専門職による産後うつ質問票の実施件数		5,456 件	増加	5,477 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	産後うつ質問票を活用することで、産後うつの早期発見につながります。						
	質問票の実施により継続支援した件数		746 件	適切な継続	715 件	順調 やや遅れ 遅れ	順調
産後うつを早期に発見し対応することで、育児負担を軽減につながります。							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	対象家庭に訪問した結果、81%は実際に面接できており、面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診において支援を行っています。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	産婦の状況に応じて地域の主任児童委員や専門職が実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
対象家庭に訪問した結果、81%は実際に面接できており、面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診において支援を行っています。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。関係機関と検討した結果を踏まえ、連携体制を整備するとともに事業の周知を図り、より効果的に事業を推進します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	(仮称) 養育支援が必要な家庭への訪問指導員派遣事業						掲載ページ		
							64		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	養育に問題を抱えている家庭に対し、訪問指導員がその居宅を訪問し、家事・育児に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の養育能力の向上を図ります。			活動実績
活動計画	検討資料とするため、他都市の実施状況を確認します。				
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】
	養育支援体制の検討		単年度の目標設定はありません		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調
	他都市の状況を参考にしながら、養育支援の体制を検討します。 (最終目標と最終年度)				
	(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ 順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	養育に問題を抱える家庭に対して継続した支援を行うことは育児不安の軽減を図り、児童虐待予防につながることから重要です。養育支援の必要な家庭の実態や他都市の実施状況を把握・分析した結果、約半数の政令指定都市が実施しており、派遣する対象者や実施回数等についても、各市において特徴があることがわかりました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	効果的に実施できるよう、関係機関と連携する必要があります。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
養育支援の必要な家庭の実態や他都市の実施状況を把握・分析した結果をもとに、具体的な内容を検討します。その結果をもとに養育支援の必要な家庭に対する支援について検討し具体的な実施に向けて取り組みます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	育児支援家庭訪問事業							掲載ページ
								64
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局
		43,979	千円	46,339	千円	施策名	母子保健	担当課
								子ども家庭局
								子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	個々の家庭の抱える養育上の問題の解決や負担の軽減を図るため、出産後間もない時期や様々な原因で養育が困難になっている家庭に対して、保健師等が訪問し、子育てに関する情報提供や専門的な支援を行います。			活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実するために、専門職と地域との連携をとりながら事業を確実に実施します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	家庭訪問件数	2,180 件	確実な訪問	2,291 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	養育に問題を抱える家族に対して訪問することは、育児不安の軽減につながることから必要です。 （最終目標と最終年度）						
					順調	順調	
				やや遅れ			
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	若年や多胎児、産後うつなど、養育が困難な妊産婦に対して、専門職が継続支援を行っています。養育に子育ての孤立化を防ぎ、親の育児不安を軽減するために重要です。養育が困難な家庭に対して専門的支援を行うためには、保健師等の専門職の訪問による支援が必要です
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	児童福祉法に基づく事業であり、実施する必要があります。児童福祉法に基づく事業であり、実施する必要があります。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実するために、事業の継続が必要です。今後も関係機関と連携し、専門職を対象にした研修を実施するなど個々の母子保健に関する知識の向上やスキルアップを図ることで、より効果的に事業を進めていきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	妊産婦・乳幼児なんでも相談等の実施						掲載ページ		
							65		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		26,261	千円	28,117	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	育児不安の軽減を図るため、市民センター等、地域の身近な場所で、保健師による相談を定期的に行います。また、子育てに関する知識の普及と啓発のために講話等を開催します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	身近な場所で子育てや母子の健康について相談できるよう、市民センターや子育てサークルと連携しながら実施していきます。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】		
	なんでも相談開催箇所数	132 箇所	全小学校区	136 箇所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	身近な場所として全小学校区で開催する必要があります。 （最終目標と最終年度）					順調		
						やや遅れ		
	（最終目標と最終年度）				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	概ね全小学校区で開催しており、相談者数も多く、身近な相談場所として定着しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	子育ての孤立化を防ぎ、親の育児不安を軽減するために、身近な場所で相談できる場の提供は重要です。専門職による相談を実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。身近な相談場所として定着していることから、継続実施は必要です。小学校区を担当する保健師が実施することで、訪問等の事業から継続して行うことができ、また、地域との連携を図ることができます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
身近な相談場所として定着してきており、子育ての孤立化の予防に繋がっていることから、今後も事業を継続します。あらゆる機会を通じて事業の周知を図り、利用者の促進に向けて推進していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	乳幼児健康診査未受診者フォローアップ事業							掲載ページ
								65
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局
		26,262	千円	28,117	千円	施策名	母子保健	担当課
								子ども家庭局
								子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	虐待につながりやすい状況を早期に把握し予防するため、乳幼児健康診査未受診者に対して、家庭訪問を実施し、受診勧奨するとともに、養育に関する相談に応じます。また、妊婦や乳幼児の健康診査をデータ管理し、受診結果に応じて保健指導を行ないます。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	事業の継続実施						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	家庭訪問件数	379 件	適切な訪問	342 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	虐待を予防するために、4か月・1歳6か月児健康診査未受診者に対して家庭訪問し、状況を確認することは必要です。 （最終目標と最終年度）						
					順調	順調	
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	4か月児と1歳6か月児健康診査の未受診者に対して、受診勧奨のはがきを送付するとともに、訪問等により子どもの成長発達や育児不安等の相談に応じています。 健診受診を勧奨することは、乳幼児の健康保持や虐待を早期に発見するために重要です。また、乳幼児健診の未受診者は、様々な問題を抱えていることがあるため、受診勧奨し、支援することは必要です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係機関と協議して実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
乳幼児健康診査の未受診者に対して、受診勧奨し家庭訪問等の支援を行なうことで、育児不安の軽減や孤立化の防止に繋がっています。児童虐待予防のために、事業の充実を図りながら継続していきます。 また、健診情報のデータ管理を確実にし、未受診者の確実な把握を行ないます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	地域でつくる子育て応援事業						掲載ページ		
							65		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,456	千円	2,713	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	区の推進協議会やまちづくり協議会等と連携し、子育てに関するボランティア活動や地域特性を活かした子育て支援活動等を支援します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	区の特性に応じた子育て支援活動を実施します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	区や校区単位で開催される子育て支援のための活動件数	84 回	適切な実施	92 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	地域の特性に応じた子育て支援活動を実施するため必要な指標としました。 （最終目標と最終年度）						
（最終目標と最終年度）					順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	各区の状況に応じて、子育て支援に関する会議や勉強会等を実施しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	区の独自性を活かすことで、市民に身近な活動内容となっていることから、地域でつくる子育ての成果は高いです。各地域で、関係機関と連携した活動を中心に実施しており、地域に広がっています。また、関係機関と連携することで、子育て支援の活動が多方面に広がっています。このことから、市が介入して、地域との関わりを促し、本市の情報を提供することは、重要です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
7区独自で、その区の地域の関係機関との連携を強化し、各区の独自性を活かした活動を進めていきます。地域における子育て支援活動や支援者が多方面に広がっていることから、今後も関係機関と連携し、子育て支援の活動を強化していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	母子栄養食品支給事業						掲載ページ		
							65		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		26,262	千円	28,117	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	母体の健康保持および乳児の健全な育成を図るため、栄養の確保が困難な低所得世帯の妊産婦および乳児に対し、栄養食品（粉乳）を支給します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	支給申請を希望する対象者に適切な栄養食品を支給します。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	受給者数		446 件	適切な給付	455 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	栄養確保が困難な妊婦及び乳児に対して粉乳を支給することは、経済的負担の軽減や健全な育成を図るために必要です。 （最終目標と最終年度）							
						順調	順調	
（最終目標と最終年度）					やや遅れ 遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成22年度は、446人に支給しています。経済的負担の軽減と母体や乳児の健康保持を図るために、施策としての効果は高いです。経済的負担の軽減を図るために、低所得者を対象に支給することは必要です。母体や乳児の健康確保のため、妊娠から出産後まで継続した支援を行うには、市の関与が必要です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	低所得者を対象にミルクを支給しているため、これ以上のコスト削減は難しいです。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
経済的に困難な家庭に対して支給しているため、今後も継続して支援を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	母子保健調査研究事業						掲載ページ		
							65		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,332	千円	1,242	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	多様化する母子保健に対するニーズに対応するため、母子保健に関する総合的な調査研究や講演会等を実施します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	母子保健の問題について、様々な関係団体と連携して研究、講演会を実施します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	講演会の開催		1 回	適切な実施	1 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	多様化するニーズに対応するため、母子保健に関する調査・研究を行うことは必要です。 （最終目標と最終年度）						
						順調	順調
（最終目標と最終年度）					やや遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度は、調査研究2件と専門職を対象とした研修会を実施しました。特に研修会は参加者が多く、大変好評でした。また、思春期健康教育を推進するための調査研究を行いました。母子保健の問題に対して、関係機関が調査研究するとともに、専門家向けの研修会を実施することは、施策として効果が高いです。様々な視点から母子保健の問題を把握することで、施策に反映することができるため重要です。市が行うことで、母子保健の問題に対して具体的に検討することができます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	様々な関係団体が関わる中で、調査研究を行うことは、母子保健の現状を把握するために重要です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
母子保健の問題について、様々な関係団体が連携し研究することで、解決に向けた取り組みを充実させていきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	保健・医療・福祉・地域連携システム推進事業						掲載ページ		
							65		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		11,404	千円	10,610	千円	施策名	母子保健	担当課	いのちをつなぐネットワーク推進課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地域住民、地域団体、保健・医療・福祉関係者、行政機関等で構成される区保健・医療・福祉・地域連携推進協議会（以下、推進協）は、子どもから高齢者までの誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的とし、地域が連携しお互いに支えあうネットワークづくりに取り組んでいます。その活動に対し補助金を交付することにより、地域連携の推進を目指します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	推進協において、関係者・地域による専門部会を開催するほか、地域ケア研究会、各種ネットワーク会議を開催して、地域ニーズの把握を行います。健康まつり、ウォーキング等のイベントを通じた啓発活動や広報誌、ホームページなどによる広報活動を行い、関連情報の発信に努めます。以上の推進協の活動に対し、補助金の交付による支援を行います。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	推進協における子育て支援などの専門部会や研究会の開催		-	地域・関係団体との会議開催	-	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	地域の多様なニーズを把握し、地域の課題に対し、きめ細かく対応するために、高齢者支援・子育て支援・健康生きがいづくり等の各専門分野に分かれ、情報共有や課題解決のための会議・研究会を各区で行っています。 （最終目標と最終年度）						順調	
	推進協議会における地域福祉に関する広報・啓発活動の展開		-	効果的な広報・啓発活動の展開	-	やや遅れ	順調	
地域福祉に関する活動を地域に知ってもらい、地域福祉のネットワークづくりを推進するための一環として、健康まつりやウォーキング等の広報・啓発活動を各区で行っています。 （最終目標と最終年度）		遅れ						

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	地域福祉のネットワークづくりや地域連携の推進のため、推進協では、高齢者支援、子育て支援、健康づくり、安全安心等の専門部会にわかれ、地域の課題やニーズ等の会議・研究会を行い、民生委員等の地域関係者や、ケアマネジャー等の専門職員との意見交換がされています。また、他専門部会や総会で報告され、情報共有もされています。健康まつりやウォーキングのイベントでは、子どもから高齢者まで幅広い年代の方が参加され、広報・啓発活動においても、一定の効果を挙げているものと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	平成23年度から区の事務局を保健福祉課へ変更したことにより、福祉分野等の専門性のあるニーズに対応できるようになったと考えています。しかし、区によって活動に差が見られるため、新しいニーズなどに対応できるよう、事例検討等の実態に合わせた取り組みを強化することで、より効率的で高い効果が得られるのではないかと考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること	
今後、推進協を「保健・医療・福祉分野のネットワーク組織」として明確に位置づけ、より積極的な活動を行っていくためには、実態に合わせた取り組みが必要となるため、事例検討等の実施について、各区推進協と意見交換等しながら検討します。	